

ぽこ・あ・ぽこ

Poco a Poco イタリア語で「少しずつ」という意味です。

第24号 平成13年10月1日 発行

発行者 社会福祉法人 神戸婦人同協会 子供の家
〒661-4474 兵庫県尼崎市若工寺4-16-3
tel 06-6491-8953 fax 06-6498-3444
E-mail info@kodomaro-ia.org
URL http://www.kodomaro-ia.org

パソコンルーム開設!

近年、一般の家庭においてもパソコンが普及している中、兵庫県内の児童養護施設で結成している兵庫県児童養護連絡協議会では、施設で生活している子ども達がパソコンに日常的に触れる機会を得て、時代に遅れない人材に育つて欲しいと考え、これらの機器の寄付を呼びかけたところ、日本ヒューレッド・パツカード株式会社からこれに応え、寄付を実現してくる運びとなりました。兵庫県児童養護施設「子育て支援規準推進委員会」の委員長である神戸市外国語大学助教授品田充儀氏が、神戸マルチメディア・インターネット協議会に寄付を呼びかけたところ、日本ヒューレッド・パツカード株式会社から同社の社会貢献プログラムへの応募を勧められ、このほどの審査が通過して実現するに至ったものです。具体的には兵庫県下の児童養護施設二七箇所に対して、同社のパソコン百三台、プリンター三十台を寄付していただけたという大規模なものです。現在、全国の殆どの児童養護施設においては、児童が利用できるパソコンは設置されておらず、子ども達の情操教育と視野を広げるといふ意味において、極めて価値のあることだと考えています。さらに、子ども一人一人の人權を守るとともに、社会に誇れる子育てを発展させるために、施設内では言いにくいかも知れない子ども自身からある「子育て支援規準推進委員会」



等に発信出来るようにメールの設定も行い、子ども達に自由に利用させる段取りをしています。当施設には、七月末にパソコン八台、プリンター二台が搬入され、職員手作りに「パソコンルーム」が出来上がりました。全てをLAN配線にし、ケーブルを用いた高速通信システムを構築し、ソフトも既存ソフトに加え、一太郎スミックスやホームページミックス等、子ども達でも十分使いこなせる物も追加しました。パソコンインストラクションマニュアルも施設独自のものを作成し、職員が講師になって子ども達に「レクチャー」を行なっています。まだまだ基本操作もままならない状態ですが、少しずつ技術を習得して、双方の情報発信が出来るようになったらと願っています。

子どもを育てる

保育士 長野 牧子



子どもを育てるといふ仕事に関わり始めて、子どもを育てるといふことよりも、子どもと関わる中で私自身が育てられてきた事のほうが多いのではないかと思います。私が日頃心がけておきたいと思うことは、「ゆっくりと・・・」ということなんです。時間に縛られがちな集団生活のなかで、子どもにだけだけせかさずに関わりたいのか、ということもいつの間にか出てしまふ時、深呼吸を一つして「早く!」とつぶやいてしまいます。また、子どもの成長や自立ということに関して言えば、大人自身が今の自分と変わりたいと思ってもな

なかできないように、子どもにも目に見えような成長を期待するのではなく、長い時間子どもと付き合う中で、小さな変化を見過ごすことなくその成長を褒めて、共に喜ぶことを大切に、社会に出て（学校という小さな社会でも・）その子自身として歩めるようになって欲しいと思いつながら日々過ごしています。子どもの小さな成長と共に、自分も小さな成長を積み重ねて、より良く子どもと関わりたいと思っています。

夏休み体験記

無人島生活体験

中三 男児

今、自分達の住んでいる環境を改めて見なおしてみると、僕達現代人は周りのあらゆる物にささえられながら生活しているということがわかりました。そんな快適な暮らしをしている中、僕はこの夏、「無人島に生きる」と言うキャンプに一週間行って来ました。正直、とても厳しかったです。その無人島には水道もなければ、電気も流れていませんでした。食事は米と調味料だけわたされて、おかずは、海の中に潜って貝や魚を取って食べるぐらいでした。でもまだよかったですのは、にわとりを班に一羽とグレイプ・フルーツ1人半分がもらえただけでした。それでも帰りたいと思いました。けれども、

そんな時に同じ班の仲間にとってもはげましてもらいました。みんなもつらいはずなのにと思いがんばりしました。そしてつらいこともあったけど、このキャンプで二度と出来ない体験をさせてもらいましたし、大切なことをまなびました。それは、飲食類の大切さといつもいっしょに暮らしている仲間の大切さでした。これらのことは、今の快適な暮らしをしている僕らにとっては体験できないものなのでこのキャンプに参加できなかったことをありがたく思っています。だから、このキャンプで学んだ事や体験したことを活かしてこの一度しかない人生をせいっぱい楽しんでいこうと思えました。



ダイビングショップ体験

高一

男児

今年の夏休みは和歌山県の串本で

約三週間と五日ほどダイビングのライセンスを取りに修業にでました。最初はシーフレンド（店の名前）の人達と仲良くやっていけるか、洗濯は出来るのか？とても不安だった。でも実際行ってみるとその不安はすぐになくなった。みんな優しく明るく振舞ってくれた。オーブンウオータの講習では何も知らない僕に優しく教えてくれた。学科では、疲れていたせいか半分寝ていてあまり覚えなかった。講習は後にいろいろ手伝いもあつたがぜんぜん苦ではなかった。講習は全部で七本潜る事になった。二本位ポートだった。五m位で耳抜きができず途中で上がりバデューの人達にも迷惑をかけてしまった。ついには、病院に行く事になりシーフレンドの人達にも心配させてしまった。幸い耳に異常はなく安心した。病院に行つてからは耳も抜けるようになり始めて見る、十メートル以上深い海は、思っていた以上にきれいでいる。いろいろな魚が見れ、すごく感動した。いつ頃か分からないうが、僕はインストラクターになりたいと真剣に思うようになった。また、気軽に話せる友達？もでき、いろいろおもしろいお客さんなどにも会うこともでき御飯も美味しく、よく昼寝もでき、とても充実していた毎日だった。すごく楽しくいい経験になった。最後に社長Nさんをはじめシーフレンドのみなさん、お世話になった方々、長い間お世話になり感謝しています。

夏休みを利用して職業体験に七月二日から和歌山県串本町に行つてくるAくん。無事にスキューバダイビングのライセンス（Cカード）も取れ二十本（ダイビングでは潜水の回数をタンク数として一本・二本と数えます）のダイビングを経験したということ。Aくんは将来的にダイビングのインストラクターになりたいという希望を持つている。今回の体験はとても充実している様子です。店のオーナーもAくんをたいへん気に入ってくれているようです。このダイビングサービスは障害者も多数受け入れており障害者の人たちとも多数接する機会があります。夏に大きく成長した彼の今後を楽しみにしています。



海上自衛隊体験(一)

中三 男児

七月二四日から二七日まで三泊四日の体験入隊へ徳島県の小松島の海上自衛隊へ行ってきました。今年で二回目の参加で今年は去年より胸を張って行きました。今年も去年と同様に、ヘリコプター搭乗、基本教練、体験航海等をしました。その中で一番、ヘリコプター搭乗がとても心に残りました。また基本教練が辛かったです。けど、自衛隊に行っても良かったです。

海上自衛隊体験(二)

中二 男児

七月の最後から八月の初めまで自衛隊に行きました。僕は、初めはとても眠たかったです。行きは車で二時間、バスで四時間かかり、海上自衛隊に着きました。眠い中、一日が終わり二日目は、朝六時三十分起きでした。眠たくて、眠たくて、三十分寝ました。起きて七時に朝ごはんです。自衛隊の説明は、二時間ほど話があり長かった、一時間休憩があり、寝ていました。また、集合の時に帽子を忘れて怒られました。すぐに部屋に戻って帽子を取りに行きました。すでに、敬礼が始まっています。また、怒られました。一時間はしんどかったです。三日目は、パイロットです。いよいよ楽しそうだととても待ち遠しかったです。二日目を終えました。三日目に入り、昼にいよいよパイロットになって、飛行機に乗りました。とてもきれいで、おもしろかったです。

なつまつり

八月二五日、子供の家の園庭で夏祭りが盛大に行なわれました。たくさんの子どもたちが浴衣や甚平を身にまとい、保護者の方々やお友達と共に夜店をまわり、ゲームを楽しみ、子供の中に楽しい笑い声が響いていました。また、夏祭りを行うにあたって、たくさんの方々のボランティアの方々が協力して下さった事で、無事終えることができたのだと、改めて実感しております。
「来年もしたい！」という子どもたちの声をもとに、みんなが楽しめる夏祭りをこれからも心がけたいと思っております。

新しい職員が増えました



保育士 熊倉 慶子

皆様、始めまして。八月より働かせていただいております熊倉慶子と申します。担当は小学生男児です。私は学生の時、子供の家に実習でお世話になり、それで降子供の家で働きたいと思っていたので、決まった時はとても嬉しかったです。実は私は以前、保育園で働いていました。保育園のように小さい子どもだけではなく、年齢の高い子どもが多いので毎日が体力勝負ですが、学校の出来事を聞いたり、一緒に買い物に出かけたりと、とても楽しい毎日を過ごしています。仕事上のこと、施設内のこと、たくさん覚えることがあり大変ですが、子ども達に教えるもったり、職員の方々にお世話になりながらも頑張ろうと思っております。まだまだ慣れておらず、バタバタとしている毎日ですが、少しでも多く子ども達とゆったりと時間をもち、毎日を楽しく、元気に過ごしたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

マナーのおはなし

毎月一回、厨房職員が中心になって「マナーのおはなし」をしています。これは、食生活の事をその時期の必要にあわせてお話をしているものです。簡単なテーブルマナーに始まり、衛生面、栄養面と子ども達が身近に考えられることを中心に取り上げていきます。お話しした内容はポスターにして食堂の掲示板に貼って、

いつでも振り返れるようにしています。普段はなかなか子どもの前に立つて話す機会の少ない厨房職員ですが、この時ばかりは各自趣向を凝らして楽しく、分かりやすいお話作りに努めています。このお話が子ども達のマナーと食知識の向上に貢献している事は言うまでもありません。



みなさまのご厚意に心から

感謝申し上げます

・九月十八日、近くの名神尼崎ゴルフセンターの会員の皆様により、東条町のレイクスワンC.C.を会場として子供の家を対象としたチャリティ・オープン・コンペが盛大に開催されました。当日は絶好のゴルフ日和で、百名余の方々腕を競われた後に、クラブハウスにおいて成績発表や大抽選会が行われました。懇親会の席上ゴルフセンターから多額の寄附金の目録が園長に贈呈され、園長からはゴルフセンターとこのチャリティ・オープン・コンペの提唱者でもあり第一回目からの企画者でもある、(株)三鷹社長の高橋勉氏に感謝状が贈られました。他に曾根俊之氏、木島吾郎氏、高木始夫氏からも寄附金を頂きました。これらの善意を幼児さん対象の玩具購入やビデオカメラ購入に当てさせていただく予定です。皆様からのご厚意、ご支援に因應るべく職員一同、ますます努力いたしたいと思っております。本当にありがとうございます。

・八月二六日、昼ご飯にと、浜戸産業株式会社社長の浜戸様から、出来立て、焼きたてのアツアツピザを頂きました。冷凍食品をいっさい使っていない、本格的石釜で焼かれたピザは見るからに美味しそう、職員子ども共々美味しく

いただきました。かなり以前から頂いており、子どもたちも待ち遠しかったです。本当に有り難うございました。

寄付・寄贈者と内容

(四月～八月まで)

寄贈

- ・西宮友の会 様
- ・(毎月ありがとうございます)
- ・浜戸 恵子 様
- ・シャトレレーゼ御園店 様
- ・福持 岩雄 様
- ・兵庫地域福祉財団 様
- ・日本ヒューレットパッド 様
- ・井上 孝太郎 様
- ・グル ラムチャント 様
- ・アース製薬 様
- ・高田 様
- ・小川 宏 様
- ・ハーパーライフ オブ ジャパン 様
- ・重田 清治 様
- ・兵庫県農業協同組合中央会 様
- ・阪本 宝玲 様
- ・木村 又一郎 様
- ・モスバーガー 共栄会 様
- ・日本水産(株) 様
- ・キリンビール(株) 様
- ・神戸支社 様

寄付

- ・高橋 勉 様
- ・曾根 俊之 様
- ・木島 吾郎 様
- ・高木 始夫 様
- ・天理教尼崎北支部 様
- ・宮本 暢二 様
- ・西井 克泰 様

- ・岡野 博 様
- ・宇都宮 静子 様
- ・塚口住宅婦人会 様
- ・重田 清治 様

ボランティアに来て下さった方々
(四月～八月まで)

- ・学習ボランティアの皆様
- ・あそびボランティアの皆様
- ・尼崎レオクラブの皆様
- ・散髪ボランティアアツインズの皆様
- ・お話ボランティアアジオジオの皆様
- ・金光教尼崎教会の皆様
- ・紙芝居ボランティア古橋りえ様

皆様のご厚意に心から

感謝申し上げます



子育て相談事業

子育てに関して「こんなとき、どうすれば良いの」と思うことはたくさんあると思います。でも、相談しようと思ってもどこに相談すればいいのやら・・・そんなとき、身近に相談できる所があればいいですね。子供の家では随時、子育てに関する様々な質問に経験豊かな職員がご相談に応じます。まずはお気軽にお電話ください。電子メールでも結構です。

電話 ○六 六四九一 八九五三
時間 午前九時から午後五時まで

苦情、ご意見受付

また、苦情、ご意見は表紙の電話、ファックス、電子メールにてご遠慮なくお申し出下さい。

あとがき

小学校の運動会も終わって、一息ついているこの頃です。季節もようやく秋らしくなって、朝晩はめっきり冷え込むようになりました。これから秋祭り、味覚狩り、遠足、等季節を肌で感じられる行事が続きます。街中の喧騒を離れて自然の中に身をおいてみると、大自然に抱かれ、癒されていくような気持ちになります。様々な事情で子ども達は施設で生活していますが、少しでも多く「癒しのある生活」がとれるようにしたいと願っています。

